

可動用デジタル FPU 専用同軸ケーブル

用途

- 中継現場でのFPUシステムの送受信専用ケーブル
- 1GHz以下の周波数における一般通信用ケーブル

特長

- TCX-5DFWSは中心導体に当社独自の複合撚線導体を採用しました。
- ケーブルの取り回し及び耐屈曲性が大幅に向上しました。
- TCX-5DFWは5Dクラス最長の450m以上、TCX-5DFWSは400m以上の伝送が可能です。
- 専用N型コネクタ付ハーネス加工品も対応致します。詳しくはお問い合わせください。

構造図

◎可動用Dタイプ同軸ケーブル「TCX-5DFWS」



構造・特性

品名	中心導体		絶縁体		外部導体1 (編組)		外部導体2 (編組)		完成品		電気特性		
	構成 本/mm	外径 mm	構成 打数/本/mm	密度 %	構成 打数/本/mm	密度 %	外径 mm	概算質量 kg/100m	導体抵抗 Ω/km	静電容量 pF/m 1kHz	特性インピーダンス Ω 10MHz	リターンロス dB 1MHz~1GHz	
TCX-5DFW	1/1.80A	5.0	24/7/0.14A	94	24/8/0.14A	96	8.2	11.9	7.10 以下	84	50 ± 2	20.9 以上	
TCX-5DFWS	7/0.60A+0.203A × 6							11.5	8.38 以下	85.5			

標準減衰量

品名	標準減衰量 (dB/100m)											
	10 MHz	30 MHz	72 MHz	88 MHz	90 MHz	130 MHz	180 MHz	220 MHz	270 MHz	440 MHz	750 MHz	770 MHz
TCX-5DFW	2.6	3.7	5.9	6.6	6.6	8.2	9.5	10.6	11.9	15.4	20.6	20.9
TCX-5DFWS	3.0	4.3	6.7	7.4	7.5	9.1	10.8	12.0	13.4	17.4	23.4	23.7

※標準値は当社測定代表値です

※ FPU で使用する IF 信号は 130MHz で伝送されています

技術説明

中心導体に複合撚線導体採用

新開発のTCX-5DFWSにはSDI信号用に開発した可動用同軸ケーブルTCX-5CFWSと同様に中心導体に当社独自の複合撚線導体を採用しました。これにより、通常の撚線導体と比較して断面積を約10%アップできる為、ループ抵抗を低く抑えることができます。結果として、撚線導体採用ながら、超低損失なケーブルとなりました。

